

令和 6 年度 佐賀整肢学園・かんざき日の限寮事業報告（総括）

佐賀整肢学園・かんざき日の限寮

施 設 長 大 島 毅

（総括）

令和 6 年度の事業計画に基づき、救護施設佐賀整肢学園・かんざき日の限寮（定員 70 名）の施設運営を行った。

事業の実施に当たっては、感染症対策に努めながら、利用者の活動や業務内容等について、随時見直しを行った。

関係機関と連携を密に取りながら、循環型施設として地域や他種別施設等への移行推進、自己実現に向けた各種サービスの充実に努めた。また、地域社会との連携、福祉人材の育成にも積極的に取り組んだ。

地域における公益的な取り組みとして、生活困窮者自立支援法に規定された就労訓練事業、生活困窮者の一時受入事業（独自事業）、生活困窮者に対する相談支援事業（独自事業）を実施した。

利用者の状況として、入所定員 70 名に対し、年間平均利用者は 76.8 名（前年度平均 76.5 名）となり、定員に対する利用率は 110%（前年度 109%）で推移した。今年度より開始した保護施設通所事業については、定員 4 名に対し、1 名の登録があり、通所訓練及び訪問指導を計 142 回利用された。

令和 6 年度のかんざき日の限寮の決算は、経常増減差額 51,121 千円で前年の 33,613 千円に比べ、17,508 千円の増益となり、当期活動増減差額 50,706 千円、次期繰越活動増減差額 372,420 千円であった。積立金の総額 403,500 千円となり、純資産の合計は 1,054,380 千円で前年度より 41,656 千円の増となった。

1. 施設設備の整備

（1）機器整備関係

- ・中央競馬馬主社会福祉財団より助成金(1,770 千円)を受領し、送迎用普通自動車 1 台 (3,775 千円) を購入した。
- ・エアコン 2 台 (計 347 千円) の入れ替えを行った。
- ・パソコン 2 台 (計 417 千円) を購入した。

（2）設備整備関係

- ・1F 職員室空調設備の故障のため、修繕 (242 千円) を行った。
- ・給湯ラインポンプの故障のため、取替工事 (195 千円) を行った。